

第H30-8号
平成30・12・26

第六町内会だより

発行者:佐藤 俊明
編集者:広田 進六



平成31年1月吉日

平成31年新年挨拶文

会長 佐藤俊明

『北郷親栄第六町内会地区は災害に強い、住んでよかった！』
の町づくりを目指します

新年あけましておめでとうございます。ご家族御一家健やかに素晴らしい平成31年をお迎えの事と謹んでお慶び申し上げます。

日頃から、北郷親栄第6町内会に対する深いご理解とご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、台風・地震・停電(ブラックアウト)という、今までにない、思いがけない災害に見舞われました。第六町内会は、他の地域よりも被害は少なかったわけですが、これからは何があるか分からぬ時代に成って来ているように感じられます。白石区は震度5強でしたが、これが阪神淡路大震災の時のように6強7であったらどうなっていたのか？阪神淡路大震災では、高層ビルの1階～4階がつぶれたそうです。又ドアが開かなくハンマーでドアを割ったそうです。

北郷親栄町内会連絡協議会では、6月に防災訓練(もぐれん公園)11月に避難所運営訓練を行っていますが、第6町内会として、何が出来るのか、何をしなければならないのか、強く考えさせられました。災害時は特に、「人との縁・ひとを思いやる心・助け合いの心」が命を救います。

自分の事は自分で守り、地域と連携して助け合っていかなければならぬ時代になりましたが、ますます町内会の役割、活動が大切になってまいりました。

超高齢化社会に突入し、地域意識の希薄化が進んでまいりましたが、ゆうゆうクラブさんとの連携を強め、高齢者見守り活動の充実・親睦等々を進めると共に、災害に強い町づくりに努力いたします。

札幌市は、(仮称)札幌市町内会に関する条例(素案)を作り、本年4月1日に施工する予定との事です。条例の中には、札幌市の責務一町内化に対する地域住民の理解と関心を深め、及び、町内会の活動への地域住民の一層の参加や協力を促進するため、広報活動、啓蒙活動その他必要な支援措置を講ずるーと書かれています。

こまどり公園が、昨年全面改修になり、大木が無くなり見晴らしがよくなりま

した。枯葉の問題・カラスの被害も少なくなるのではないか！木が無くなったのは少し寂しいですが、高齢者と子供たちにとって安全で清潔な憩いの場所に成りました。リニューアルした公園ができ、小さな子供達はきれいな砂場、新しく設置されたスプリング遊具・スツールなどで楽しく遊んで頂ける様になります。又、あづまや(シェルター)もでき高齢者の方ものんびり過ごす事ができるのではないか！

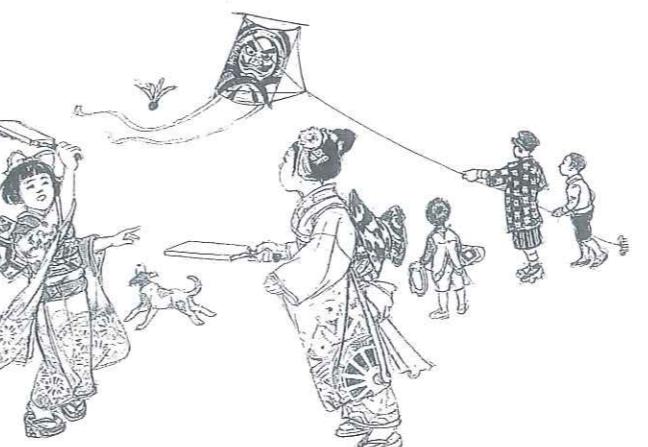
これからの時代を担う子供達が安全・安心に生活できる環境作りも町内会の大切な責務と考えており、このために青色パトロール隊、交通安全啓蒙活動、スクールガード等の活動事業についても学校関係、行政、警察等と連絡を取りながら進めて参ります。

昨年は、鉄北通りのもう一か所のサークルゴミボックスを小規模化し、アパート3か所・住宅4か所を小規模化いたしました。住宅に置くのは私有地のため承諾を貰いますが、皆様の御協力に感謝申し上げます。

今年も、サークルごみボックスの小規模化を図っていきます。街がきれいになる事は、それだけで犯罪が少なくなります。皆さまの協力をお願ひいたします。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を心より御祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

初夢 もういくつ寝るとお正月



初夢とは、新年のある夜に見る夢。この夢の内容で、1年の吉凶を占う風習がある。字義どおりに新年最初に見る夢とされることは少なく、現代では元日(1月1日)から2日の夜、または、2日から3日の夜に見る夢とされることが多い。

初夢に見ると縁起が良いものを表すことわざに「一富士二鷹三茄子」というものがある。この後の四以降については地域、文献などからいくつか存在しており、それについても諸説ある。「四扇五煙草六座頭」=(しおうぎ、ごたばこ、ろくざとう)はそれぞれ対応しており、富士と

扇は末広がりで子孫や商売などの繁栄を、鷹と煙草の煙は上昇するので運気上昇を、茄子と座頭は毛がないので「怪我ない」としゃれて家内安全を願うという。

【座頭】髪の毛を剃った盲人

また、室町時代ごろから、良い夢を見るには、七福神の乗った宝船の絵に「なかきよのとおのねふりのみなめさめ なみのりふねの おとのよきかな(長き夜の 遠の眠りの皆目覚め 波乗り船の 音の良きかな)」という回文の歌を書いたものを枕の下に入れて眠ると良いとされている。これでも悪い夢を見たときは、翌朝、宝船の絵を川に流して縁起直しをする。

【回文】上から読んでも、下から読んでも、同文、同文句になるように書かれた文。例=たけやぶやけた